

2024年度活動・事業計画

(2024年4月1日～2025年3月31日)

活動方針(8つの柱)

第1の柱 ー 会員組織の拡大・会員活動を活発にします

1. 協力会員の拡大については年間24人を目指します。ボランティア説明会は理事の協力も得て毎月開催します。ボランティア説明会の進め方については広報の仕方を工夫します。
2. 協力会員の拡大状況に合わせて利用会員の困りごとに積極的に対応できるように活動を活発にしていきます。
みんなち会員についてはわかりやすいパンフレットを作り会員拡大につなげます。
3. たすけあい活動、サロン・居場所活動以外に会員参加の機会を作ります。地域の交流のための活動を開催します。会員の親睦を図るため、誕生会・ふれあい敬老会・新年会を計画し、バスを利用したお出かけを秋に開催します。

第2の柱 ー たすけあい活動、運営への会員参加

1. ふれあいサービスは移動サービスを中心に、利用者・協力者・活動時間ともに110%以上の拡大を目指します。
2. 新しい会員が活発に活動できるようブラザー制度をすすめていきます。
3. 移動サービスのうち定年を迎えた会員が新しい分野の活動へ参画できるよう引き続き提案していきます。

第3の柱 - 制度サービス(在宅)は包括的視点の強化

1. 居宅介護支援サービスは、現状の人数を確保し、請求ベースで月200件を目指します。担当利用者のうち要介護の利用者の割合を7割以上に増やします。
2. 訪問介護サービスは、月200時間の提供を目指します。移動支援についても対応できるヘルパーを増やします。
3. 計画相談サービスは、現行の利用者を基本にします。
4. 通所介護サービス(るんるん)は利用者数を月32人とし、平均利用回数は月215回を目指します。職員を増員し、安全・安心な働き甲斐のある職場にしていきます。
5. スタッフの研修計画を定め、全員のスキルアップをめざします。

第4の柱 - みんなんちは地域交流の拠点に

1. 人数制限をなくし定番の参加者や会員以外の方も参加できるようにしていきます。
2. 地域の交流拠点となるよう、新講座・新企画を検討します。
3. 「みんなんちカフェ」を充実させ、講座のある日も誰でもフラッと立ち寄れるカフェを目指します。
4. 地域交流イベント「みんなんち広場」を今年度は春に1回開催します。松戸市内の様々な団体に参加を呼びかけ、ふれあいネットまつどを地域交流の拠点としていきます。
5. 第5火曜日を「みんなんちデイ」として理事会主催の行事として定着させます。理事会で企画・運営を担い、会員や地域の方々へ声をかけて、ふれあいネットまつど・みんなんちを知ってもらいます。
6. まつど DE つながるステーション IN ときわ平に積極的に参加します。

第5の柱 - 教育・研修活動の充実強化を図ります。

1. 市民を対象に、地域活動担い手研修会(移動サービス・福祉有償運送運転者研修等)を開催します。
また、研修に参加した人が、ふれあいネットまつどの活動に参加してもらえる仕掛けと働きかけを行います。
 2. 会員を対象に、運転者研修とテーマ別のスタッフ研修を計画的に実施します。
-

第6の柱 -東日本大震災支援活動

1. 引き続き今年度も宮城県東松島市のコミュニティサロン「東松島みんなんち」を支援していきます。
2. 東松島の皆さんとふれあいネットまつど会員・市民との交流をすすめます。

第7の柱 -広報活動を活発に

1. 会の活動の発信媒体としてインターネットを活用し、多くの人にリアルタイムで情報を届けられるようにします。
2. ふれあいサービスやデイサービスるんるんのパンフレットを刷新し会員・利用者を増やしていきます。

第8の柱 -役員体制・事務局機能の強化と財政基盤の確立

1. スタッフ各自が自分の仕事に数字で責任を持てるようにします。
 2. 理事会は毎月開催し問題解決していきます。
 3. 週1回の企画会議、月1回のスタッフ会議で情報を共有し事務局機能を強化していきます。
 4. 役員とスタッフが協力して年間行事を担い企画から運営していく体制を進めていきます。
 5. 財政基盤を確立し、黒字体質に転換できる様取り組みます。そのために事業費のコスト削減に傾注します。
 6. クラウドファンディングを活用するなど新しい資金調達取り組みをおこないます。
-